

～手をつなぎ 作ろう未来の ふるさと作手～

作手

地域協議会 だより

<第14号>

発行
作手地域協議会
(事務局) 作手自治振興事務所

〒441-1492 新城市作手高里字縄手上60番地 作手総合支所内
電話：0536-37-2280 FAX：0536-37-2216
Eメール：tsukude-jichi@city.shinshiro.lg.jp



◆平成28年度作手地域協議会委員【24名】(敬称略)

	氏名	行政区	備考
菅守地区	西岡 政昭【新】	善夫	地区推薦 (地区長)
	齋藤 泰輔【新】	菅沼	地区推薦
	小泉 和宏	善夫	地区推薦
	齋藤 純子	菅沼	地区推薦【副会長】
開成地区	横山 卓央【新】	明和	地区推薦 (地区長)
	柴田 房男	北中河内	地区推薦
	漆間 美保	南中河内	地区推薦
	清水 洋子【新】	黒瀬	地区推薦
巴地区	松岡 吉亮【新】	市場	地区推薦 (地区長)
	舩 貴元	野郷	地区推薦
	小澤 竜史	野郷	地区推薦【会長】
	伊藤 美里	相寺	地区推薦
協和地区	佐宗 昭宏【新】	戸津呂	地区推薦 (地区長)
	宮道 信次	和田	地区推薦
	島 浩男【新】	大和田	地区推薦
	夏目 麻由美	田代	地区推薦
各種団体等	齋藤 宏都【新】	野郷	中学校PTA推薦
	鈴木 康之	相寺	小学校PTA推薦
	原田 知草【新】	北中河内	こども園保護者会推薦
	権田 義憲【新】	北畑	農業協同組合推薦
	西郷 光男	見代	森林組合推薦
	黒谷 幸憲【新】	長者平	商工会推薦
	権田 佐代子	西田原	老人クラブ推薦
	佐宗 龍俊	戸津呂	消防団推薦

※【新】・・・新たに選任された委員

4月22日(金)、作手総合支所会議室において、第1回作手地域協議会が開催されました。

今回、新たに11名の方が委員に選任され、4年目となる作手地域協議会がスタートをきりました。

また、会長・副会長については、昨年度に引き続き、会長を小澤竜史さん(野郷)、副会長を齋藤純子さん(菅沼)に務め

第1回作手地域協議会開催
4年目がスタート!

ていただくことが承認されました。

今年度も、作手地域の課題解決や作手地域が元気になるよう、活発な協議を行っていきます。



▲第1回作手地域協議会の様子

平成28年度地域活動交付金採択結果

地域活動交付金は、地域の課題解決や活性化のために、市民が主体的になって取り組む活動に対して支援する交付金です。

1月4日(月)から2月10日(水)まで募集を行ったところ、9事業の申請がありました。

3月12日(土)に作手総合支所会議室において地域活動交付金の審査会を開催し、プレゼンテーション、質疑応答の後、採択を行いました。

審査の結果、すべての事業が採択基準(40点満点中22点以上)を満たしており、9事業の採択を決定しました。

採択結果については、下表のとおりです。



	団体名	事業名	事業費 (千円)	決定額 (千円)
1	作手を考える会	いきいき作手芸能祭	99	99
2	学校跡地のあり方を考えよう会	裏山を生かした学校跡地の活用推進事業	316	300
3	亀山城址・古宮川環境整備クラブ	掲示板設置事業	205	205
4	自然に親しむ会・作手	作手中間湿原群の保護活動推進事業	155	155
5	作手音楽ネットワーク ♪アルペジオ♪	♪作手を音楽で盛り上げるプロジェクト♪	99	99
6	菅沼区	「菅沼のあゆみ」史料編纂事業	164	164
7	菅守スポーツ愛好会	旧菅守小学校グラウンド整備事業	304	300
8	作手農業女子会 なんのen	人と人・作手と都市を繋げよう ～作手ブランド推進活動～	99	99
9	田代区	田代(荒原)百話案内板設置事業	306	300

【募集締切】

平成28年6月13日(月)

【応募資格】

16歳以上の者が、3名以上の団体。
※ただし、団体の構成員に1名以上の作手地域自治区内在住者がいること

【交付限度額及び交付率】

交付限度額・・・1団体につき30万円
交付率・・・交付対象経費に対して100%以内

【応募方法】

- ①作手自治振興事務所で申請書類をもらう。
- ②新城市HPから申請書類をダウンロード。

【その他】

申請を考えている方、もしくは迷われている方、どんなことでも結構です！お気軽に作手自治振興事務所まで御相談ください！

平成28年度地域活動交付金 2次募集受付中！

現在、平成28年度地域活動交付金の2次募集を行っています。

作手地域の課題を解決したい！作手を活性化させたい！という方、申請をお待ちしております！

地域協議会先進地視察

パート2

新城市では、市が策定している「新城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の一環として、平成27年度から「地域プランニング事業（地域自治区ごとのまちづくり計画策定を目標）」に取り組んでいます。

作手地域自治区では、平成27年度に「作手地域まちづくり計画」を策定し、全戸配布させていただきました。今後は、2年後の計画の見直しや改善に向けて、この事業に取り組んでいきます。

この地域プランニング事業の一環として、昨年11月に全地域自治区の地域協議会委員を対象とした先進地視察（岡山県津山市阿波（あば）地区と岐阜県恵那市の2コース）と、先進地視察に参加された委員さんによる意見交換会を行いました。

今回は、前回の岡山県津山市阿波地域の報告に引き続き、岐

阜県恵那市の視察内容（概要）と、視察に参加された地域協議会委員の方の感想などについて報告します。

地域自治区制度の先輩

岐阜県恵那市

恵那市は、名古屋市の中心部からおおよそ60キロメートル、岐阜県の南東部に位置し、愛知県と長野県に隣接した地域です。恵那市は、東部に恵那山、南部には焼山、北部には笠置山と、山々に囲まれ、山あいには木曾川や矢作川などが流れる自然豊かな地域です。

平成16年10月、旧恵那市と恵那郡の5町村（岩村町・山岡町・明智町・串原村・上矢作町）が合併し、新恵那市となりました。

合併により市域が広くなった恵那市では、住民に身近なところで、住民に身近な事柄を、住民の主体的な取り組みを中心にして、住民の意向を踏まえた効果的な施策を実施していくこと

が必要と考え、合併の翌年の平成17年に地域自治区制度を導入し、市内を13の地域自治区に区分けしました。



恵那市のゆるキャラ「エーナ」

恵那市独自！ 新たな地域自治 のしくみ

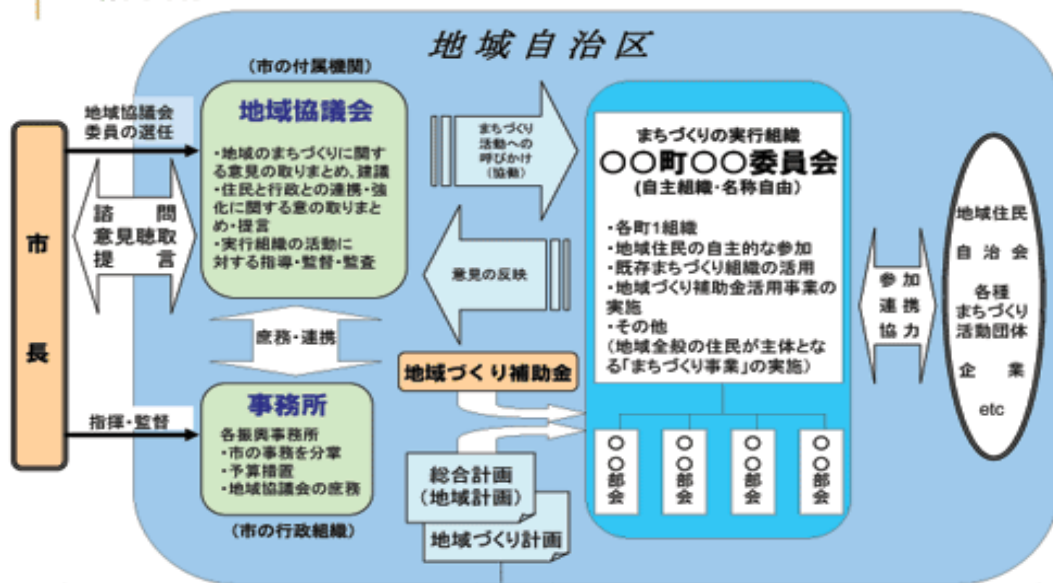
【まちづくり実行組織】

恵那市独自の地域自治のしくみとして、新城市と異なる点が、まちづくりの実行組織を設置しているところです。

このまちづくり実行組織は、地方自治法や恵那市地域自治区条例で定められている組織ではなく、恵那市が独自に取り組んでいるものです。また、まちづくり実行

組織は各地域自治区に設置され、役割としては、地域協議会が定める地域計画に沿ったまちづくり活動を計画・実施します。

地域自治区のイメージ



【地域づくり補助金】

恵那市は、まちづくり実行組織が地域計画に沿った活動を実施していくための活動資金として、地域づくり補助金を導入しています。

地域づくり補助金とは、地域の伝統文化、自然などの特色を生かしたまちづくりを進めたり、地域の課題などを地域自らが解決に向けて取り組む活動を支援するもので、新城市で言えば、地域活動交付金に似たものです。

この補助金の補助対象は、まちづくり実行組織に所属する団体のみで、補助金の使い道を決める事業計画(案)の作成は、まちづくり実行組織が行います。

なお、事業計画(案)の審査は地域協議会が行い、事業計画(案)が承認されると、まちづくり実行組織の各部会が事業計画に沿って事業を行います。

視察① 農事組合法人なかのほう不動産やさいの会

平成3年に、中野方地区の農業振興と活性化を目的に、農家の女性を集め不動産やさいの会を設立。平成6年には地元の農産物直売所を国や県の補助金を活用し整備(直売所の整備+食堂の増築)。平成20年に農事組合法人なかのほう不動産やさいの会を設立。現在は、市からの指定管理を受け直売所と食堂の管理・運営を行っています。

同会は加工部門と販売・食事部門に分かれており、女性会員25名で運営をしています。加工部門は、高速道路サービスエリアや恵那市の観光物産館などで加工品販売を行っており、販



▲直売所(中央)及び食堂(右奥)

売・食事部門は直売所に併設された食堂で、地元野菜を使った定食などを提供しています。今のところ十分な利益はまだ出ていないとのことでしたが、雇用の拡大、世代間交流の増加、農業女性の生きがい創出による魅力ある地域づくりに繋がっているとのことでした。

視察② 笠置山栗生産組合

恵那市は、栗の加工品が有名ですが、栗加工品のうち地元産の栗は3〜4割程度。そこで地元産の栗の割合を増やすため、平成21年度に中野方地域協議会とまちづくり実行組織の中の農業振興協議会が、平成16年に恵那市が国から購入したグリーンピア恵那(大規模年金保養基地)跡地を栗園化することを市長に要望。

平成22年に栗園の経営主体として同栗生産組合を設立。現在、組合員は35名(農家5名、定年者5名、兼業農家25名)。

経営方針は「恵那栗によるまち・ひとの活性化」「楽しい日本一の栗づくり」。なお、平成28年度に法人化を検討することとした。

栗園については平成22年度に1ヘクタール、平成23年度に1・7ヘクタール、平成24年度には1ヘクタールを市の単独事業で造成(農地面積としては約2・6ヘクタール)。また、平成24年度には、県の中山間地域総合整備事業の採択を受け、平成30年までに合計16・2ヘクタールの造成を行い、大規模栗園を目指すとのことでした。



▲笠置山栗園(グリーンピア恵那跡地造成地)

**視察③ NPO法人
恵那市坂折棚田保存会**

坂折棚田を中心とした自然豊かな里山の保全や坂折棚田地域の農業の活性化を図るため、平成20年に設立。棚田オーナー制度などを実施し、都市住民との交流を通じて生き生きとしたまちづくりを進めています。

【棚田オーナー制度】

棚田オーナー制度は、少子高齢化に伴う農業の後継者不足が深刻化し、地元民だけでは棚田の面倒をみる事ができなくなってきたことを受け、平成18年度からスタートした制度です。

棚田オーナー制度には4つのコース(通常・本格・グループ・お一人様オーナー)があり、顧客のニーズに対応できる体制をとっています。現在、70組(うち企業15組)がオーナーをしており、名古屋の方が多いとのことでした。



▲坂折棚田(手前)と笠置山(右奥)

**視察④ NPO法人
奥矢作森林塾**

奥矢作森林塾

NPO法人

林再生と地域の維持・活性化を目的に、空き家を地域の資源と捉え、空き家の再生・活用を図るため、平成20年度に空き家調査及び意向調査を行い、平成21年より「古民家リフォーム塾」を開始しました。

近年は、「里山づくりの会」と称し、森林の整備を行うためのチェンソーの安全な使い方を教える講習会や、間伐の実習を行って行っています。その他、団体が行う間伐材の搬出に対し地域通貨を交付し、地域経済の活性化を図る「木の駅プロジェクト」なども行っています。

【古民家リフォーム塾】

古民家リフォーム塾とは、移住者に空き家を購入してもらい、地元の大工さんの指導のもと、移住希望者とリフォーム体験希望者で空き家の改修を行い、空き家の再生・活用を通して移住・定住に結び付ける取り組みのことです。

また同組織は、移住者が移住後も地域になじんでいけるよう、移住前に、あらかじめ地域

の文化や自然を体験する「里山イベント」や「里山ぼらんていあ」へ参加してもらい、地域の文化などを知ってもらうための取り組みをしています。さらに、移住者待機住宅(旧駐在所を古民家リフォーム塾で改修したもの)も整備し、移住前に実際に田舎暮らしを体験することができる体制をとり、移住者が移住してきやすい環境を作っています。



▲古民家リフォーム塾で改修した古民家

【効果】

「みんなでやろまいか!」を合言葉に、恵那市や地元企業などと連携・協力することで、地域課題の解決に向けた連帯感が高まってきているそうです。

また、古民家リフォーム塾への参加をきっかけとして、移住する方が増え続けており、事業開始以来、地域に58名(15世帯)が移住し、地域に明るい話



市の指定管理を受け奥矢作森林塾が管理・運営する「奥矢作レクリエーションセンター」(旧小学校)。現在は、宿泊施設として活用している。

題が多くなったとのことでした。空き家に関しては、既に地区から空き家が無くなった地区が3地区、串原地域自治区全体でも残りの空き家が5軒のところ、移住希望件数は、現在15件もあるとのことでした。

視察参加者の感想など(抜粋)

・地域自治区の活性化させるのは担い手にかかっている。リーダー研修に予算をつけたい。
・地域に住む人々の「やる気」を醸成していく方法を探したい。

・何をしたいのか?どんな地域にしたいのか?予算があるので何をしようではなく、目標を現実させるために何が必要かを考えていきたい。
・自治力の強化と地域間の連携を図っていきたい。

・地域自治区の協働とは、市民と行政が向き合っていない。一緒に悩んで一緒に考えてほしい。
・リーダーを発掘していかなければ、地域の活性化は難しい。

・行政、各種団体、地域住民の交流と信頼を高めていきたい。そのため何が必要かを考えていきたい。

・失敗を恐れて実行しなければ問題も見つからず、何もせず終わってしまう。実行すれば失敗も生まれ、その中から必ず次のステップが見いだせると思う。

・視察先のほとんどが自主運営に徹している。施設等は行政の支援、運営は利益を出し活力ある活動を自らが実施している。

・農事組合法人やNPO法人など、行政頼りではなく自立した地域づくりを目指している。

・先頭に立つ指導者が情熱とエネルギーをもって、それを支える周りの人々と強力なリーダーシップを発揮している。

・コミュニティビジネス(自主独立採算性の向上)を目標にした計画の構築をしていきたい。
・各地域が活動し、収入を得て、雇用を生み、移住を生み、自立する。こんな活動がしたい。

・地域づくりにはパワーが必要。若者に呼びかけていきたい。



作手地域の各種団体を教えてください!

作手地域自治区では、今後、「作手地域まちづくり計画」に沿ったまちづくりを行っていくうえで、様々な団体の協力・連携が必要になってきます。そこで、作手地域で活動をされている各種団体を把握しようと考えています。

待ってるよ♪



つきましては、作手地域の各種団体を御存知の方、所属されている方、ぜひ教えてくださるようお願いいたします。

なお、教えていただけただけの場合は、お手数ですが「団体名」「代表者名及び連絡先」「会員数」「活動内容」を教えてください。把握した内容については、団体の意志を尊重し、厳重に取り扱います。

現在、こちらで把握していません。各種団体は下表のとおりです。

皆様からの御連絡をお待ちしております。

作手地域の各種団体（作手自治振興事務所把握分）※順不同

1	亀山城址・古宮川環境整備クラブ	22	S familia Baila Baila
2	さわやかネットつくで	23	もりの本だな
3	あめんぼ読書会	24	豊久会
4	ひまわり	25	体操クラブ
5	木の葉のページ	26	ハミングバード
6	親子わいわいクラブ	27	J A女性部作手支部
7	自然に親しむ会・作手	28	新城市商工会作手支部
8	学校跡地のあり方を考えよう会	29	作手手筒花火同好会
9	作手を考える会	30	Xショップ
10	協和塾	31	作手和太鼓倶楽部「鼓響」
11	菅守夢おこし会	32	作手書道クラブ
12	菅守を明るくする会	33	作手写真クラブ
13	つくで・いいーらあー	34	作手俳句会
14	作手音楽ネットワーク ♪アルペジオ♪	35	高原短歌会
15	カプリス	36	吾妻流闘季の会
16	カモミールティー	37	ボランティアグループ A. R. T (アート)
17	つくで草の根音楽隊	38	参丸苦楽部
18	カモミールの会	39	手の会
19	黒瀬念仏保存会	40	市場歴史文化同好会
20	山村交流施設活用推進 コーディネーター会	41	体育協会 弓道部
21	作手農業女子会 なんのen	42	菅守スポーツ愛好会

地域活性化備品(貸出備品)を追加しました。

平成27年度の作手地域自治区予算で地域活性化備品がさらに充実しました。

【地域活性化備品】

地域活性化備品とは、作手地域の活性化を促進するため貸し出す市の備品のことです。

【貸出対象者】

①作手地域の活性化のために、市民が主体的に取り組む団体。

②16歳以上の者が3人以上。ただし、団体の構成員に1人以上の作手地域自治区内在住者がいること。

③政治活動、宗教活動又は営利活動を目的としない団体。(※お祭りなどの祭礼行事には貸出しできません。)

なお、地域活性化備品一覧表は左表のとおりです。

【新】・・・追加備品

No.	備品名	数量
1	簡易テント	3張
2	トランジスタメガホン	1個
3	特定小水カトランシーバー	5台
4	ソフトスコッチコーン	25個
5	角型コーンベース	25個
6	蛍光リングバー(長さ200cm)	15本
7	蛍光リングバー(長さ150cm)	14本
8	無地立看板	40枚
9	A型バリケード(トラ柵)	20枚
10	誘導棒	15本
11	コードリール(屋外用)【新】	1個
12	会議テーブル(長机)【新】	10台
13	折り畳みチェア【新】	30台
14	プロジェクター【新】	1台
15	スクリーン【新】	1台
16	展示用パネル【新】	10枚
17	展示用パネル用ポール【新】	11本
18	マイクアンプ【新】	1台
19	ワイヤレスマイク【新】	3本
20	マイクスタンド【新】	2台

平成28年度つくでっ子元氣事業 気事業を開催します!

つくでっ子元氣事業は、作手地域自治区の区域内の小・中学生を対象に、スポーツ・文化・芸術の講習会、講演会、鑑賞会を行い、学習意欲の向上を図ることを目的とし、今回で3回目となります。

今回の事業には、アフリカの中でも特に音楽が盛んなコンゴ

平成28年度つくでっ子元氣事業 【作手地域自治区予算事業】



リングマ

「コンゴの伝統音楽と

ダンスエンターテイメント」

とき 6月11日(土)
【共育の日】
午後1時30分開場
午後2時00分開始

ところ 作手小学校北校舎
体育館

出演 リングマ

入場料 無料(申込み不要)



民主共和国からやってきたリングマさんをお招きし、迫力のあるステージをお届けします! たくさんの御参加お待ちしております!

